

第六次諏訪市総合計画に基づき 実施した事業の効果検証

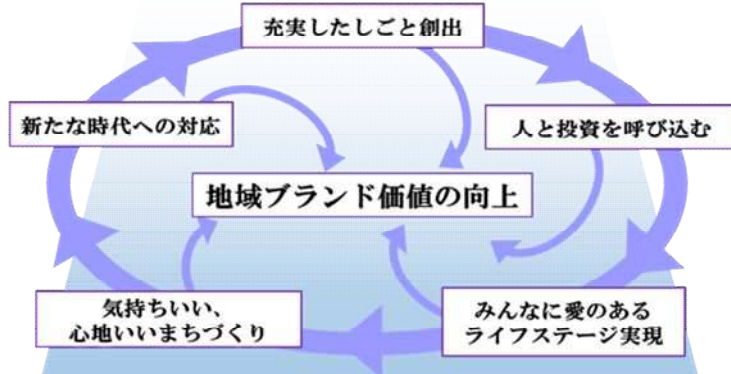
第六次諏訪市総合計画について

将来像

魅力の架け橋 高原湖畔都市

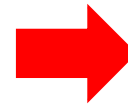
～ シゼンとヒトがつながる、すわ。～

重点目標



基本方針

福祉	子ども・子育て	環境	環境保全	学習	学校教育	
	地域福祉		森林保全		地域教育	
	障がい者福祉		環境衛生		生涯学習・文化芸術	
	高齢者福祉	防災	防災・危機管理		スポーツ振興	
	社会保障制度		安心生活		文化財保護・活用	
	健康づくり	産業	工業		行政経営	健全財政
	地域医療		観光		スマート化	
	道路整備・計画		商業・流通		広域連携	
	都市空間		農林漁業		まちの賑わい創出	
	上水道・下水道		雇用・スタートアップ支援		多様な市民の参画	
温泉			持続可能な地域			
地域公共交通						



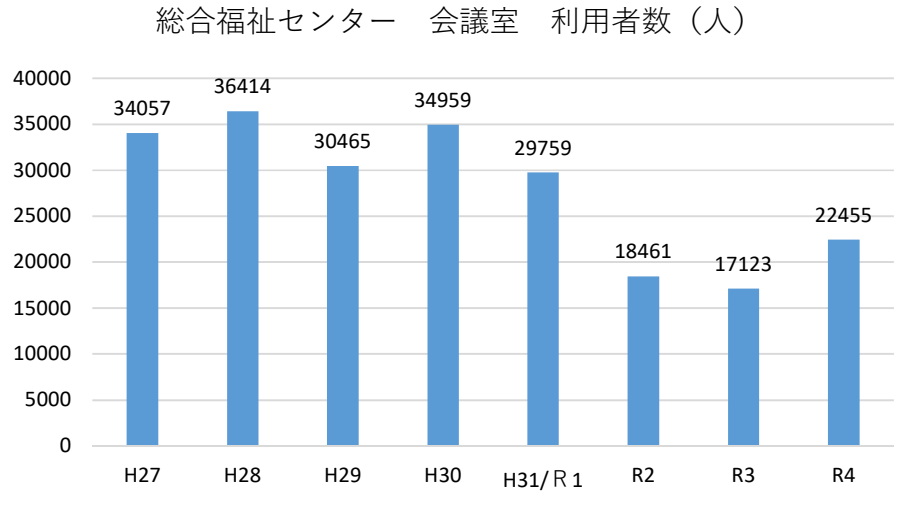
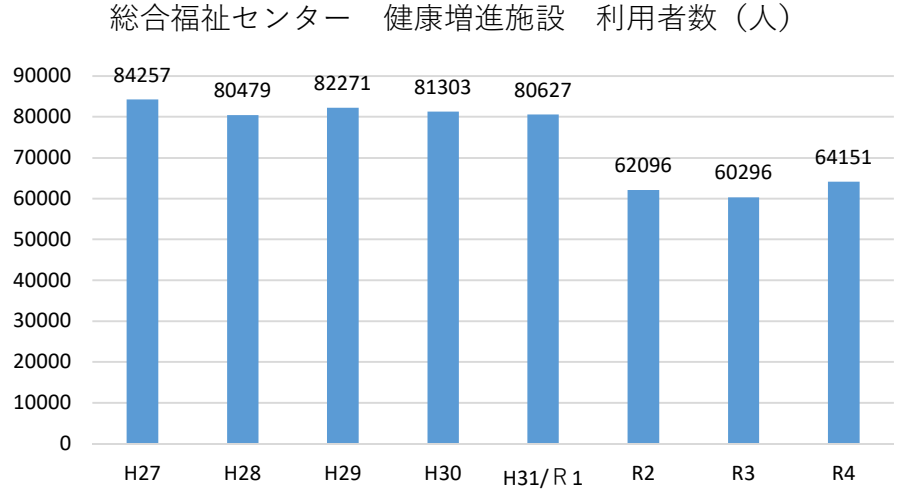
- ◎総合計画外部検証委員会において、33の基本方針に基づき実施した主要な事業の効果検証を実施します。
- ◎毎年4事業ずつ、各分野、各基本方針を網羅できるよう偏りなく効果検証を実施します。

◆今回対象となる令和4年度事業

事業名	基本方針
総合福祉センター管理運営事業	地域福祉
ICT教育推進事業	学校教育
ごみ減量化推進事業	環境衛生
ふるさと寄附金事業	多様な市民の参画

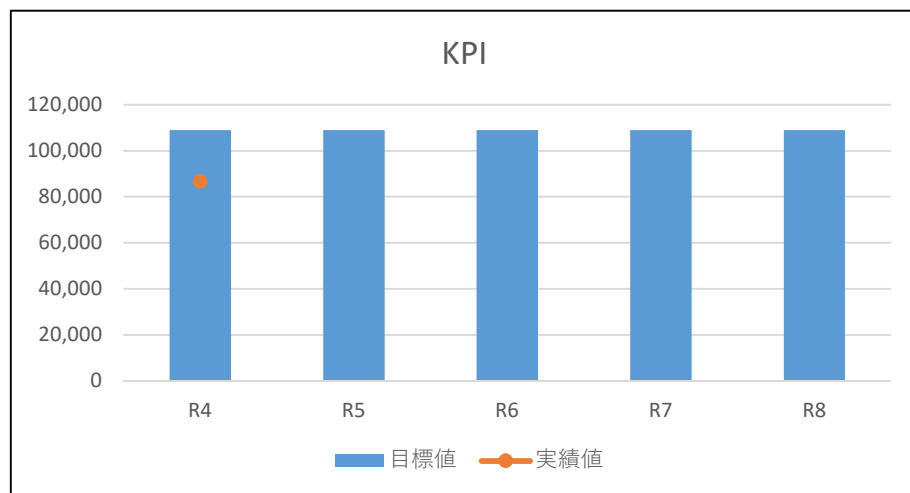
令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(表)>

事業名	総合福祉センター管理運営事業		担当課・係	社会福祉課社会係
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・福祉団体 ・ボランティア団体 		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業内容を補足する図・グラフ・写真など</p>	
事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進施設(入浴施設)の利用による健康増進 ・福祉団体等への活動拠点の場の提供・整備 ・ボランティア活動、コーディネーター活動拠点の提供・整備 			
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画に基づき、施設の老朽化に対する修繕等を計画的に行うとともにサービスの向上を図る。 ・センター内の「ボランティア・市民活動センター」において、市民にボランティア活動に関心を持ってもらうための情報発信や活動に参加するきっかけづくりを行う。 			



令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(裏)>

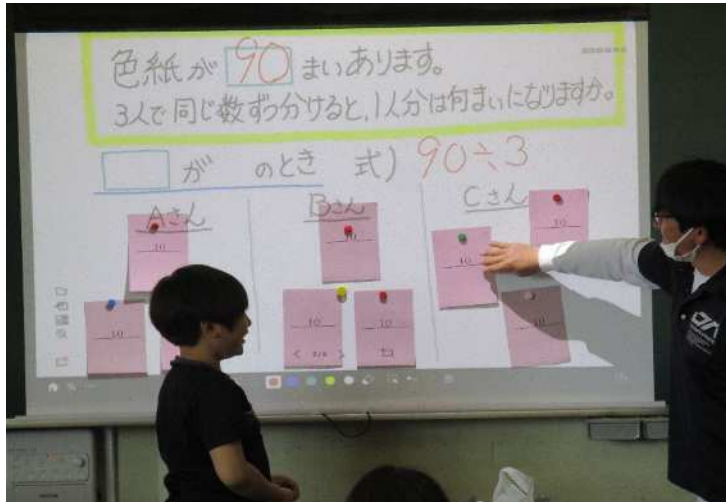
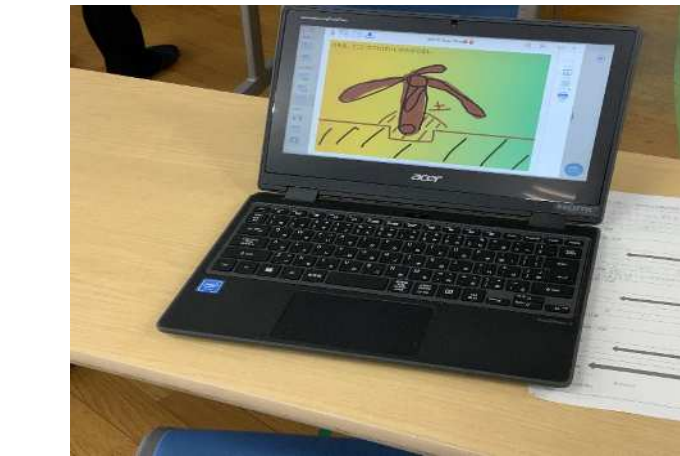
事業名	総合福祉センター管理運営事業	担当課・係	社会福祉課社会係						
事業概要 現状	地域福祉推進の拠点として市民の健康増進、交流を図るための場所として整備している。コロナ禍において会議室の利用人数に制限をかけながら運営してきた。		KPI						
			総合福祉センター利用者数						
課題	温泉入浴施設などの設備老朽化やコロナ禍による利用者の減少がみられる。		KPI・必要経費 経年比較						
			単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	109,000	109,000	109,000	109,000	109,000	109,000
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	86,606	86,606				
			達成率	79.5%	79.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	指定管理者と協力の上、館内電話設備の更新工事、損耗の激しい一部カーペット材の更新、交流広場の緞帳更新など、計画的な修繕を行っていく。		必要経費(千円)						
			予算額	71,304	71,304				
			決算額	71,303	71,303				



令和4年度実績に対する考察

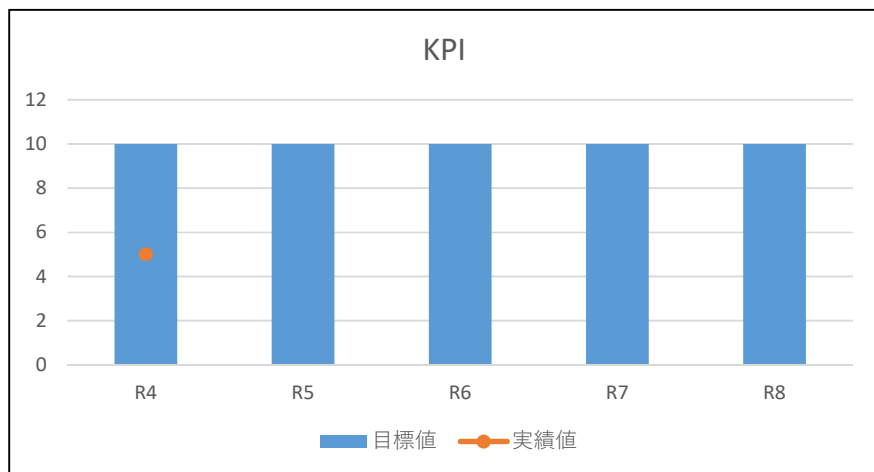
健康増進施設の年間利用者は、平成16年度より常に8万人を超えていたが、コロナ禍の令和2年度以降は大幅に減少し、令和3年度は約6万人まで減少した。令和4年度の年間利用者は6万4千人と回復傾向が見られる。会議室についてはコロナ禍において利用人数に制限を掛けているため減少となっているが、健康増進施設と同様の傾向が見られる。

令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(表)>

事業名	ICT教育推進事業	担当課・係	教育総務課教育企画係
対象者	市内市立小・中学校児童生徒	事業内容を補足する図・グラフ・写真など	
事業のねらい	<p>学校現場におけるICTの積極的な活用を図るため、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、児童・生徒の学習意欲を高め、更に教員の働き方改革の推進も図られる。また、学校の臨時休業等の緊急時や不登校の児童生徒などにおいてもICTの活用により全ての子供たちの学びを保証できる環境を実現する。</p>		
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、1人1台端末を利用し、タブレットを活用した授業を行う。 ・ICT機器を活用したわかりやすい授業の展開や活用を推進する。 		

令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(裏)>

事業名	ICT教育推進事業	担当課・係	教育総務課・教育企画係						
事業概要 現状	小中学校において1人1台端末を配備し、タブレットを活用した授業を実践するとともに全小中学校に導入した電子黒板を活用し双方向型の授業等ICT教育を効果的に実施している。		KPI						
			端末利活用状況等実態調査(週3回以上の端末利活用状況)						
課題	ICTの効果的な活用を進めるため、教職員のICT活用指導力の向上が必要である。児童生徒がICTを適切に活用し、論理的思考力や情報活用能力を育成する授業展開が求められる。		単位	校	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	10	10	10	10	10	
			実績	5	5				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	多様な考えと出会い学びを深めることや異年齢集団で交流すること、プレゼンテーションの場を広げることなど、タブレットや電子黒板などICT機器を活用した双方向授業や遠隔授業に取り組んでいく。		必要経費(千円)						
			予算額	175,908	175,908				
			決算額	173,695	173,695				



令和4年度実績に対する考察

令和4年5月より全小中学校にICT支援員を配置し、ICT機器の操作支援、授業支援等教員の負担軽減を図っている。また、タブレット端末を活用した効果的な授業を実施するため電子黒板を導入し、児童生徒の学習環境の充実を図った。今後、小中一貫教育を推進するため、他学校との交流や遠隔授業にもICTを活用していく。

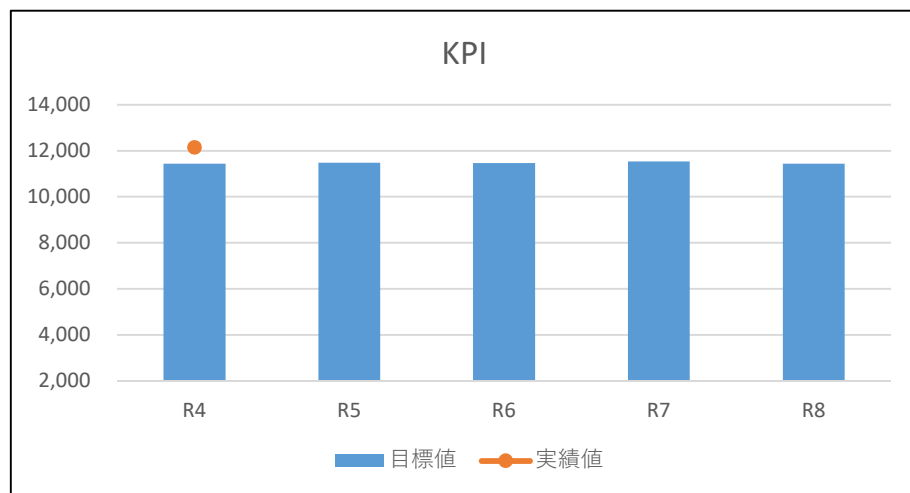
令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(表)>

事業名	ごみ減量化推進事業		担当課・係	環境課 環境衛生係																																					
対象者	市民、市内事業所		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業内容を補足する図・グラフ・写真など</p> <div data-bbox="1182 309 1951 740"> <p>燃やすごみ量の推移(t)</p> <table border="1"> <caption>燃やすごみ量の推移(t)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>家庭系</th> <th>事業系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>7,713</td> <td>5,583</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>7,843</td> <td>5,703</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8,298</td> <td>5,058</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>7,000</td> <td>5,050</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6,950</td> <td>5,196</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1249 782 1839 1326"> <p>燃やすごみ内訳</p> <table border="1"> <caption>燃やすごみ内訳</caption> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙類</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>プラスチック類</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>木・竹・ワラ類</td> <td>11.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>ゴム・皮革類</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>布類</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>不燃物類</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table> </div>			年度	家庭系	事業系	H30	7,713	5,583	R1	7,843	5,703	R2	8,298	5,058	R3	7,000	5,050	R4	6,950	5,196	品目	割合	紙類	36.9%	生ごみ	20.7%	プラスチック類	18.3%	木・竹・ワラ類	11.0%	その他	4.7%	ゴム・皮革類	3.5%	布類	3.4%	不燃物類	1.5%
年度	家庭系	事業系																																							
H30	7,713	5,583																																							
R1	7,843	5,703																																							
R2	8,298	5,058																																							
R3	7,000	5,050																																							
R4	6,950	5,196																																							
品目	割合																																								
紙類	36.9%																																								
生ごみ	20.7%																																								
プラスチック類	18.3%																																								
木・竹・ワラ類	11.0%																																								
その他	4.7%																																								
ゴム・皮革類	3.5%																																								
布類	3.4%																																								
不燃物類	1.5%																																								
事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの焼却による二酸化炭素等の削減 ・中間処理施設の負荷軽減と長寿命化 ・焼却や処分に掛かるコストの削減 ・排出マナーの向上、きれいなまちづくり 																																								
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションでの分別指導(燃やすごみ減量、資源物の分別徹底、証紙シール貼付確認など) ・諏訪湖周クリーンセンターにおける搬入ごみの展開検査の実施 ・生ごみ減量の周知・啓発(市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、ごみカレンダー) ・生ごみ堆肥化推進(大型生ごみ処理機の利用促進、生ごみ堆肥化容器等設置補助) ・イベント開催による啓発活動(サンデーリサイクル、エコフェスタ、古紙回収イベントなど) 																																								

※ごみ処理基本計画 2021(令和3)年3月修正第3回

令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(裏)>

事業名	ごみ減量化推進事業		担当課・係	環境課 環境衛生係					
事業概要 現状	市民のごみ減量についての理解と協力により、家庭系燃やすごみの排出量は減少傾向であるが、事業系燃やすごみの排出量は昨年度より2.9%増加した。		KPI		KPI・必要経費 経年比較				
			燃やすごみ排出量 (目標値以下)						
課題	ごみ処理基本計画により想定した目標を、残り4年で達成するための取組強化と、ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、イベントの再開や経済活動が活性化することによる、事業系燃やすごみの増加が課題である。		単位	t	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	11,442	11,442	11,479	11,471	11,531	11,444
			実績	12,147	12,147				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	93.8%	93.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	家庭系ごみ減量対策として、資源物(特に紙類とプラスチック類)の分別徹底と、生ごみ減量を広く周知するほか、事業所には、多量排出事業者届出制度を活用した指導、廃棄物減量化の呼びかけと啓発を行う。		必要経費(千円)						
			予算額	20,542	20,542				
			決算額	16,821	16,821				



令和4年度実績に対する考察

令和4年度の燃やすごみ量は、前年度比0.8%増となり、KPIの達成率は93.8%となった。

家庭系燃やすごみ量は、有料化の影響で令和3年度は大幅な減量となった。他自治体では有料化導入の翌年の燃やすごみ量は大きくリバウンドする傾向が見られるが、諏訪市においては、令和4年度は大きなリバウンドもなく、前年度比0.7%減となった。

事業系燃やすごみ量については、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるイベントの再開や経済活動活性化の影響もあり、前年度と比較し2.9%増となった。

これからも、市民のみならず事業所の協力が必要不可欠である。

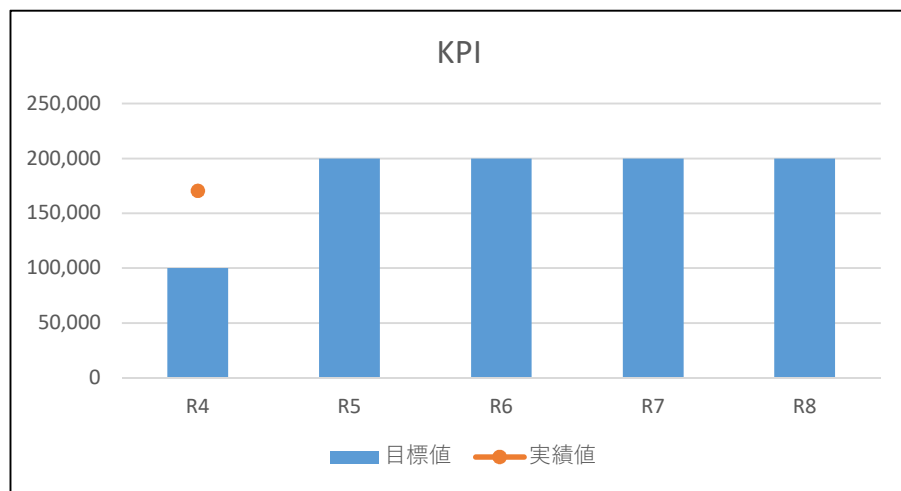
令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(表)>

事業名	ふるさと寄附金事業	担当課・係 地域戦略・男女共同参画課・地域戦略係																											
対象者	諏訪市民以外の方で諏訪市を応援したい、諏訪市に貢献したいとの想いを持っていただいている方	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業内容を補足する図・グラフ・写真など</p> <div data-bbox="1099 347 2069 922"> <p style="text-align: center;">ふるさと寄附の推移</p> <table border="1"> <caption>ふるさと寄附の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>寄附金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,650</td> <td>450,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,900</td> <td>550,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>2,000</td> <td>200,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>2,050</td> <td>100,000,000</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,650</td> <td>100,000,000</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,650</td> <td>150,000,000</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,000</td> <td>100,000,000</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,350</td> <td>150,000,000</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	件数	寄附金額 (円)	平成27年度	1,650	450,000,000	平成28年度	1,900	550,000,000	平成29年度	2,000	200,000,000	平成30年度	2,050	100,000,000	令和元年度	1,650	100,000,000	令和2年度	2,650	150,000,000	令和3年度	2,000	100,000,000	令和4年度	2,350	150,000,000
年度	件数		寄附金額 (円)																										
平成27年度	1,650		450,000,000																										
平成28年度	1,900	550,000,000																											
平成29年度	2,000	200,000,000																											
平成30年度	2,050	100,000,000																											
令和元年度	1,650	100,000,000																											
令和2年度	2,650	150,000,000																											
令和3年度	2,000	100,000,000																											
令和4年度	2,350	150,000,000																											
事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪市のPR ・地域経済の活性化 ・地元企業の販路開拓 ・寄附金による財源確保 																												
事業の手段	<p>ふるさと納税ポータルサイトより寄附していただいた方に、寄附金に応じて選択いただいたお礼の品(合計376商品から選択)をお贈りしている。お礼の品は、総務省の基準に基づき、寄附金額の3割以内であることや地場産品であることが定められている。お礼の品提供事業者は、諏訪市に申請し、審査会を経て登録している。寄附した方は、確定申告することで所得税や住民税の控除を受けられる。寄附した自治体が5以下であれば、ワンストップ特例制度活用により、確定申告しなくても住民税控除を受けられる。</p>																												

お礼の品の代表例は、別冊参照

令和5年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料<主要事業説明シート(裏)>

事業名	ふるさと寄附金事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課・地域戦略係						
事業概要 現状	諏訪市民以外の方で諏訪市を応援したい、諏訪市に貢献したいとの想いを実現することを目的として設けられた寄附金税制を活用して、市の寄附金収入の増加及び地域経済の活性化を図るために、積極的に寄附を募るとともに、諏訪市の土産品を中心とした特産物等をお礼の品として寄附者にお贈りし、諏訪市の魅力を発信している。		KPI						
			寄附金額						
課題	お礼の品の新たな掘り起こしや登録した品の魅力が100%発信できていないため、より効率的に事務を進めるための手法やシステム導入を検討し、諏訪市の魅力をよりPRできる品を増やしていく。		単位	千円	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	100,000	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000
			実績	170,475	170,475				
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	170.5%	170.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	新たにポータルサイトを追加し、諏訪市の自然やアウトドアなどの体験型ツアーやサービス提供型などの返礼品を拡充することにより、寄附金額の増加を目指す。		必要経費(千円)						
			予算額	268,207	268,207				
			決算額	224,882	224,882				



令和4年度実績に対する考察

ふるさと納税ポータルサイトを2社(ふるさとチョイス、楽天)から6社(ふるさとチョイス、楽天、auPAYふるさと納税、セゾンのふるさと納税、ふるなび、一休)に増やしたことにより、目標額の1億円を越える寄附をいただくことができました。また、SUWAプレミアムのお礼の品について見せ方を充実したことも増額の要因となった。